

ABK (アジア文化会館)秋祭り・2016 に参加してみて  
—日韓アジア基金ボランティアを通じて—

前田優華

今回私は初めてボランティアというものに参加させていただきました。もともとは韓国ないしグローバルな活動に興味を抱き探索をしていたところ、こちらの日韓アジア基金という団体のボランティア募集をみつけたというのがきっかけだったのですが。特にボランティアという活動に意識もないまますぐさま応募させていただきました。

なぜグローバルな交流活動に興味があったのかとといいますと、日本国内に滞在している外国人留学生に対する意識や理解が日本人間であまりにも薄いのではないかという問題意識を前々から感じていたためです。日本に住む外国人の数は年々増加しているにも関わらず日本人で第二外国語を話せる人や、彼らがなぜ日本に来て勉強をしているのかを知る人、彼らの文化や人柄を理解して、受け止めることができる人が少ないのではないかと常々感じています。また、このような傾向は不思議なことに隣国であるアジア圏の方が強いと感じています。

今回ボランティアとして参加させていただいた ABK 秋祭りは ABK の寄宿



生と日本語学校に通う様々な国の方々と地域の方々の交流という点で、こういった私の疑問を解決するとてもいい行事であると思いました。またこのような行事があることを初めて知った私の無知も実感しましたし、このような交流がもっともっと広がればいいな、とも思いました。

ご近所の方が多いので、お子さん連れが目立ちます

話がだいぶそれてしまいましたが、今回はその国際交流の場であった ABK 秋祭りにてカンボジアの子供たちに教科書を送るための募金活動のお手伝いをさせていただきました。自分だったら通り過ぎてしまいそうなところを、立ち止まって話を聴いてくださったり、お茶も飲まれずに募金だけして去って行かれる方などが意外と多く驚きましたし、そんな方々の善意でいただいたお金にとっても重みを感じました。それぞれどのような思いで募金をしてくださったのかは推察しかねますが、日韓アジア基金として場所を構え、声を出して呼びかけを行うことがなければ誰も集めることができなかつたお金であると思います。小さなことでも、まず行動を起こすことの大切さとはこういうことなのだなあと実感しました。

今回は、私はただのボランティアとしての参加でしたので、ただただ貴重な経験をさせていただいたという感じなのが本音です。このような組織の運営や行事の準備等骨の折れる仕事や責任も多いことかと思えます。小さなことでも今後また私がお力添えできるようなことがありましたらお手伝いさせていただきます。ありがとうございました。



160円は教科書1冊の価格です